

なぜ、待たされるのか？

救いのための祈り④

I 列王記18:41～46

ダニエル10:12～21

現代はインスタント時代です。早く出来て、早く食べられるのが求められます。野球の選手にも早く投げて、早く打つのを要求します。時間短縮のために、どんどん改良されています。信仰において人が救われる事も、神様に早く！応えて頂きたいというのが私たちの本音です。しかし、救われるために、とりなしの祈りが何年も必要なのが現実です。祈りの部屋に入って「よし！今日は祈るぞ！」と祈り出しても、必要な結果が出る前に、待ちきれなくて、あきらめて止めてしまうこともあります。どうすれば祈りに応えられるのでしょうか？

神様が「主の時」が来るまで、くじけないで忍耐して祈る者を好まれ、信仰を喜ばれることを私たちは知っています。神様は心を見られ、求める熱心さや、愛の強さを試されることも分かります。応えを頂きたい私たちが、求め続けるために、神様の側に法則や、神様の水準や基準があるなら、教えて頂きたいと思います。

聖書の学び

I、信仰の勇者の祈り

◎旧約聖書の中で、信仰の勇者エリヤとダニエルが神様に応えられ、実現したのは、どのくらい祈ったときだったのでしょうか？

①エリヤ→^{ひでり}旱が3年続いた後、神様が「雨を降らせる」と言われました。(I 列王18:1)
バアルの預言者との対決の後、「激しい雨の音がする」とアハブ王に
と言った後、どうしましたか？(I 列王18:41～46)

- ・カルメル山の頂上で必死に祈った。…^{ひざ}ひざまずいて、膝の間に顔を埋めて祈る。
(当時の出産時の女性の姿)
- ・若い者に海の方を見に行かせた。…7度、繰り返させた。

②ダニエル→ユダヤ人のエルサレム帰還の約束の70年が近いことを知り祈り始め
「聖なる都について… 70週が定められている」と応えられた(BC538)後、
実現されたのは3年後(BC535)でした。(ダニエル9:1～24)

- ・3年後、捕囚からちょうど70年目 …21日間もダニエルは断食して祈った。
(ダニエル10:1～3)
- ・神のみわざを邪魔する者と天使がその21日戦ってくれている。(ダニエル10:12～21)

Ⅱ、神の側で、測られている量がある

◎エリヤやダニエルは、なぜ実現するまでさらに祈らなくてはならなかったのでしょうか？神様は水準を定めて、様々なものを測られます。

①信仰の量（ローマ12:3）

* 各々に測って、信仰が分け与えられます。→その後の成長を期待されています。

②義の量、罪の量も到達するラインがある。（創世記6:5）ノアに語られた。

* 人の悪が増大し、

③恵みの種類や量も測って与えられる。（Ⅱコリント9:8、使徒4:33）

* あらゆる恵み(恵みの種類)、溢れるばかり…、大きな恵み…（恵みの量）

④愛の量や熱量（ヨハネ15:13、マタイ24:12）

* これよりも大きな愛はない、冷たくなる愛

⑤神の力を現すために必要な、祈りの量がある。

* 神の領域の定められているレベルに足りない量は、とりなしの祈りで補う

マタイ17:14～21を開きましょう。

- ・ 弟子たち——→殆どの悪霊や病気を癒す力を与えられていた。
- ・ 子どものてんかんの悪霊——→もっと大きい信仰と力が必要な種類の悪霊だった。
- ・ 違うことを行うためには、各々必要な違う霊的量がある。…祈りと断食が必要
(新改訳三版参照)

Ⅲ、神の水準まで届くまで祈る

◎エリヤやダニエルは、それぞれ神のみことばを頂いていました。
神様がそれを実行されるのに、必要なのは、何でしょうか？

- ・ エリヤ——→十分な祈りが足りていなかった。カルメル山頂での祈り
- ・ ダニエル——→天使を送る手助けをする、21日間の毎日の断食の祈りが必要。